

電気自動車の活用など 低炭素都市交通システム の実現に向けて

低炭素交通システムの必要性は言うまでもありませんが、そこにはガソリン自動車の高効率化や電気自動車の利用促進から、公共交通や自転車への転換まで幅広い政策があります。私どもの研究グループは環境省の環境研究総合推進費の採択を受け、電気自動車の利用促進に焦点を当てながら、公共交通整備、建物エネルギーシステムとの連携、都市気象への影響評価、制度設計とパブリックインボルブメントまで含めた、広い意味での低炭素モビリティデザイン研究を3年間にわたって行ってきました。本セミナーはこの研究成果を分かりやすく発表するとともに、関係する識者からの講演、パネルディスカッション、フロアとの討議を通して、今後の実務的、学術的展開を目指してまいります。

2013.2.27 (WED) **13:00~17:20** (受付12:30~)

プログラム

- 13:00~13:05 挨拶
- 13:05~13:35 基調講演1「EV向け経路案内システムの開発及びエネルギー効果評価」(北京交通大学 教授 姚 恩建)
- 13:35~14:05 基調講演2「長崎県 EV&ITS プロジェクトについて (仮題)」(長崎県 産業労働部 政策監 鈴木高宏)
- 14:05~14:15 研究プロジェクト概要説明
- 14:15~14:30 成果報告1「ライフスタイル(生活・交通行動)を考慮したパッケージ施策に関する研究」
(名古屋大学 エコトピア科学研究所 教授 山本俊行)
- 14:30~14:45 成果報告2「低炭素交通システムにおけるエネルギー都市環境の総合評価に関する研究」
(名古屋大学 環境学研究科 教授 奥宮正哉)
- 14:45~15:00 成果報告3「低炭素交通システムの実現に向けた制度設計と合意形成手法の開発」(名古屋大学 環境学研究科 教授 竹内恒夫)
- 15:00~15:15 成果報告4「低炭素交通システムを実現するモビリティデザインの方向性に関する研究」(日建設計総合研究所 安藤章)
- 15:15~15:30 質疑
- 15:30~15:45 休憩
- 15:45~17:15 パネルディスカッション 「EVがもたらすエネルギーと生活進化の可能性」
モデレーター:名古屋大学 環境学研究科 教授 森川高行
パネリスト:三菱自動車工業株式会社 執行役員 EVビジネス本部長 蓮尾 隆一
長崎県 産業労働部 政策監 鈴木高宏
中部電力株式会社
国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員 松橋啓介
名古屋大学 環境学研究科 教授 竹内恒夫
- 17:15~17:20 挨拶

※プログラムは変更する可能性があります。Webで最新の情報がご覧いただけます。
www.trans.civil.nagoya-u.ac.jp/kankyo/seminar

このプログラムは、環境省・環境研究総合推進費 E-1003
(「次世代自動車等低炭素交通システムを実現する都市インフラと制度に関する研究」
代表:森川高行)の成果報告の一環として開催するものです。

主催 : 環境研究総合推進費(課題番号E-1003)研究グループ
研究代表 名古屋大学環境学研究科 森川高行
共催 : 環境省

MAP



参加申込書

お名前 (カナ)
ご所属
お電話番号
e-mail

申込の方は必要事項を記入後、下記の番号にファックスしてください。

FAX : 052-789-5728

※webからもお申し込みできます。www.trans.civil.nagoya-u.ac.jp/kankyo/seminar